
笑顔で見送ってあげたくて。

ユズポン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

笑顔で見送ってあげたくて。

【Nコード】

N0102J

【作者名】

ユズポン

【あらすじ】

初投稿ですー！駄文ですが、読んでやってくださいー！新一の死ネタ。快斗君の一人称です。最初はちょっと暗いですが、最後は快斗君らしく前向きになりますー！

コメント下さいー！

では、始めます。「笑顔で見送ってあげたくて。」

都合上により、「手向けの花」から題名を変更させて頂きました。混乱してしまったなら、本当に申し訳ありません。

???俺は、どんな顔をすればいいのだろう。

こういう時は、普通取り乱したりするのか？泣き叫ぶのか？？

???現実逃避。

今の俺の状態はまさにそれと言えるだろう。

葬式。そう、ここは葬式の会場だ。

黒い額縁で縁取られた写真の中で微笑んでいる、
???新一の写真。

俺の名前は黒羽快斗。世間を騒がせている大怪盗、怪盗キッドでもあり、東の高校生探偵、工藤新一の（自称）親友。

話は戻るが、俺が新一の幼なじみ、蘭ちゃんからの連絡を受け、病院に行った頃には、もう手遅れだった。

「快斗君???!!新一、さっき突然???!!」

蘭ちゃんが今にも泣きそうな顔で、俺につげた。

蘭ちゃんによると、新一は黒の組織との対決の途中に狙撃され、死んだらしい。

???信じられなかった。

あの新一が。あの強い新一がだよ？

死ぬ訳ないじゃん。

???そう、思いたかった。

冗談なら早くそう言つて。夢や幻ならいち早く覚めてくれ。

とにかくこの状況から抜け出したくて、俺は頬をつねってみる。

???痛い。

ということは、これは現実。

俺は、病室のなかで、ただ呆然としていた。

泣き叫ぶ人達の声。それはただ悲しい事実しか表していなくて。

BGMのように、俺の頭に響く。

小箱の中で眠る新一は、生きているのかと勘違いさせる。体を無理やり揺らせばむくって起き上がるんじゃないかねえの？

そうしてやろうと新一の肩をつかむと、異変を感じる。

???冷たい。

なんだよ、この顔色の悪さ。

お前、組織を倒して蘭ちゃんに告白するって言ってたじゃん。

???嘘つきだな、新一は。

しゃあねえ、最後は俺だけでも、笑顔で見送ってやるか。

俺は笑顔で言っちゃった。

「また会おうな、新一。」

（後書き）

どーも！！ユズです！！あと3ヶ月で小学校卒業です！！

ところで私は新蘭一筋です！！大好きです！！

この作品は、ケ・タイのメモ欄に書いてました。そして、ついに初投稿！！

最後に一言。これからも宜しくお願いす！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0102j/>

笑顔で見送ってあげたくて。

2011年10月9日20時48分発行